

お知らせ

購入費用を補助します

特殊詐欺対策電話機

消費生活センター・☎③1210

対象者 ①市内に住民登録があり、居住していて②世帯全員が65歳以上で③市税などの滞納がなく④対象機器の購入日から1年を経過して⑤本事業による補助金の交付を受けたことがない世帯

補助金額 5千円を上限に、機器購入費用の半額

※審査終了後に指定の口座に振り込み。

対象機器 次のいずれかの機能を有する固定電話機など

▽警察などが提供する迷惑電話番号情報などを用いて、特殊詐欺などに関する着信を自動で拒否する機能

▽電話の相手方に警告音声が発し、自動で通話を録音するなどの機能

※対象機器が不明な場合は、購入前に同センターにお電話ください。

受付期限 4年3月31日(木)

※予算に達した時点で受付を終了する場合があります。

申込 申請用紙と必要書類を同センター(南町)または市民生活課(本庁舎1階)

※詳細は同センターまたは市ホームページでご確認ください。

購入しました

各クラブへの資機材

予防課・☎④3199

(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)を活用して、市内で防火啓発活動を行う防火団体向けに資機材を購入しました。今後、消防訓練や防災訓練などで活用し、防火防災の知識や技術の向上を図ります。

▼少年消防クラブ・初期消防訓練用資機材(軽可搬消防ポンプなど)

▼女性防火クラブ・防火広報用視聴覚資器材(液晶ビジョンやスピーカーなど)



物品・業務委託などの入札参加希望者の登録

契約管理課・☎②02119

対象 令和4・5年度に市が発注する物品、印刷、燃料、業務委託などの入札参加を希望する方で、市内に本店または営業所などがある事業者

登録有効期間 4年4月1日～6年3月31日(2年間)

受付期間 12月10日(金)～17日(金)(消印有効)

申請 必要書類を同課へ郵送(〒326-8601足利市役所契約管財課あて)または持参(本庁舎6階)

※詳細は同課または市ホームページでご確認ください。

傍聴できます

農業委員会総会

農業委員会・☎②02238

日時

▽12月27日(月)午前9時

▽1月25日(火)午後3時30分

▽2月25日(金)午前9時30分

▽3月25日(金)午前9時30分

場所 第3委員会室(本庁舎3階)

定員 先着5人

おいしく残さず食べきろう!

外食時等の
『おいしい食べきり』
全国共同キャンペーン



環境政策課・☎②02151

外食時などの食品ロスを削減するため、感謝の気持ちをもって食事をしましょう。

年末の交通安全

市民総ぐるみ運動

危機管理課・☎②02190

運動期間 12月11日(土)～31日(金)

運動の重点

▽子どもと高齢者の交通安全事故防止

▽飲酒運転の根絶と安全運転の励行

▽午後4時から前照灯を点灯する『ライト4運動』と『原則ハ イビーム』の推進



※会場などにお越しの際は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。また、状況により延期や中止となる可能性があります。

学校公開日

学校名	公開日
第一中学校 ☎213915	11月29日(月)~12月4日(土) 2月14日(月)~19日(土)
富田中学校 ☎910403	11月27日(土)~12月3日(金)
愛宕台中学校 ☎719029	12月 6日(月)~11日(土)

※変更となる可能性がありますので、事前に各学校へお問い合わせください。

小規模特認校への

入学・転入学

学校教育課・☎202219

小規模特認校(第一中、富田中、愛宕台中)へ学区外から入学・転入学する場合は申請手続きが必要で。

条件 市内に住民登録があり、次のすべての条件を満たす方

▽入学を希望する学校の教育活動に賛同すること

▽各学校の規則を遵守し、保護者の負担と責任で通学すること

▽通年で1年以上通学すること

申請方法 1月31日(月)までに申請書を同課(教育庁舎2階)へ持参 ※申請書は同課にあり。

温故知新6

ふるさと納税の事業拡大

早川 尚秀

10月14日より、『ふるさと納税』制度への新たな取り組みをスタートしました。

国では、この制度は国民が応援したい自治体を選べる制度であるとし、自治体側としては選ばれるための努力をして、そこで切磋琢磨が生まれ、魅力あるまちづくりにつながっていくことが期待されています。そして、大都市部と地方

の格差を是正し、地方創生にも続くものと考えています。実際、地域経済の活性化、地域の知名度やブランド力の向上につなげたいと、全国多くの自治体が積極的に取り組んでいます。

中には地元とは関係のない行き過ぎた返礼品を提供するなど、制度の趣旨から逸脱し問題視されたケースもありました。これまで本市では市役所内部で、税の奪い合いに加わらない、返礼品目当ての

お金はいらないという主張があったと聞いています。

しかし、足利市では税収が毎年1億円超の赤字となっており、交付税で一部補填されるとはいえ、税収がマイナスになっている状況を放置するわけにはいきません。

そもそも足利市の財政事情は厳しく、お金を選んでいる余裕はありません。そして何より、本市の地元事業者が、ふるさと納税で返礼品を提供するチャンスがないというのは不公平であると感じていました。

さらに、コロナの影響でどの事業者も厳しいので、足利市としてこの制度に積極的に取り組み、少しでも売り上げ増加につなげたい、事業者支援につなげたいと考えました。

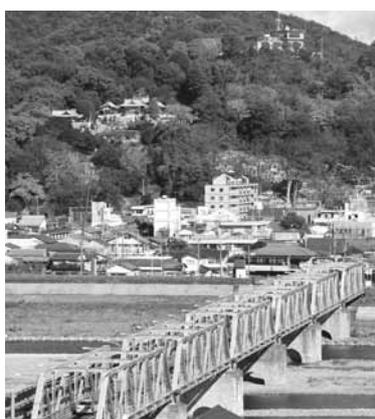
そこで、これまで準備を進め、8月の事業者向け説明会を経て、このたび26事業者、206品の参加をいただき、ポータルサイトも1社から3社へと拡大し、スタートしました。

今後は、品物だけではなく、

タクシーをチャーターしての周遊観光や、ものづくり体験、農業体験、北部のキャンプ場の利用など、創意と工夫により更なる足利市の独自性を発揮できると思っています。

市内事業者の皆様にも更なる参加をお願いし、本市に縁のある方々をはじめ全国に発信し、地域経済の活性化と本市の歳入増加、持続可能なまちづくりにつなげてまいります。

生まれ育った地元を離れて暮らしている方々が、愛着を持って郷土を支えていきたいと思っていたら、きつかけとしても、意義あるものにしていきたいと思えます。



▶ 渡良瀬橋と足利織姫神社